



水・泡あそびより～洗濯ごっこ～

屋上で泡遊びをしたときの事です。朝、保育者が「これ（普段子どもがままごと等で使っているおんぶ紐や赤ちゃん人形など）お洗濯しようかな」と言うと、「お洗濯したい」という声が聞かれます。そこで、屋上で水遊びコーナーに、タライやベビーバス等を準備し、そこに泡水や石鹸を用意しました。すると、その様子を興味津々で見つめている子ども達。かごに入っている人形等、自分が気に入った物を手にします。そして、「待っていました～」と言わぬばかりにベビーバスやタライの中に入れ始めます。泡水の心地よさも感じながら左右に手首を動かしながらまるで洗っているかのように見えてきます。人形を抱えている子には、直接人形に泡を付けました。すると、丁寧に人形の腕や顔を撫で洗い。きっと、いつもこんな風に保護者の方にお風呂で体を洗ってもらっているのでしょう。子どもの動作を見ていてほっこりしました。

泡遊びなのか洗濯気分だったのかは分かりませんが、遊び洗いた様々なアイテムを折角なので、保育者は洗濯紐を張り、次々に干していきました。その様子をじっと見守る子どもの様子もまた可愛い姿でしたよ。

次の日の保育室のしかけ

今日は、昨日の姿や場面から室内に、紐を吊してみようと思いました。紐を張り、「さあ、洗濯干そう」と保育者がままごと用ハンカチを洗濯ばさみでとめだすと…。子どもが次々にやってきます。

張ってある紐に手を伸ばし、まずは紐の張りや様子を確認めます。そして、保育者の真似をしたのか、「これも干そう」と箱の中から次々とおんぶひもなどを取り出し始めます。



紐にかけるだけではなく、洗濯ばさみを使って留めている表情は真剣。



「まだ濡れとるわ」とAちゃん。濡れ具合もリアルに表現して言います。



こちらでもMAちゃん。「まだ濡れとるわ」と。洗濯の濡れ具合を確認するように生地を触りながらリアルに表現して言います。（確かに生地が厚めです。偶然かもしれませんが、乾きにくそうです）

前日の屋上で泡遊び・洗濯ごっこに引き続き、室内でも洗濯ごっこ?!を楽しむ子もいました。子どもの好きな遊びはそれぞれ色々ありますが、保育者は、今子どもが興味や関心をもっている遊びの連続性を大事にしたい、更に遊びが発展するかもしれない、と予測しながら環境を準備する事を心がけています。

子どもは日常生活・遊びの中で感じた事や考えた事を表現しようとしています。面白いな、また遊びたい! やってみたい! の好奇心からどんどん心豊かに育てて欲しいなと思います。

スライム遊びより～スライムの魅力～

感触遊びの素材の一つに手作りスライムがあります。粘土とはまた違う感触です。保育者の感覚ですが、ひんやりして、ゆっくり伸びたり、再びくっついたり…。その感触の面白さが子どもにも人気なのかもしれません。スライムを手にする、スライムの動きに集中して見つめたり確かめたりしています。そのうち「先生見て! 眼鏡」「ハート」などと表現する子もいました。これからも、引き続きお気に入りの遊びの一つとなりそうです。



スライムの作り方

- ① 容器に水100ccと洗濯のり100ccを入れて混ぜる。
- ② 着色料（食紅 or えのぐ）を適量に入れて、色が均一になるように混ぜる。
- ③ 水50ccにホウ砂を5グラム入れてよくかき混ぜ溶かし、ホウ砂水溶液を作る。
- ④ ②と③を容器に入れてよくかき混ぜ合わせたらスライムの出来上がり。

★お家でも作ってみてはいかがでしょう♡
誤飲には気をつけながらひんやり感触を一緒に楽しんで下さいね。

★お願い★

最近、登園後は玄関でおうちの方と離れ、自分で階段を使い2階の保育室へと上り下りする様子が見られます。階段への足取りもしっかりしてきたようで成長を感じます。
☆階段を上り下りする際は自分のカバンと水筒を必ず写真のようにクロスして身に付けて下さい。布団袋やそうさんバックに水筒やカバンなど入れないようにお願いします。
☆靴下は滑りやすいので玄関のズックに入れて下さるようお願いいたします。
☆髪の毛が長い子は結んでみてください。

